11月5日は津波防災の日



くるまは、渋滞で動けなくなります。

塩竈市総務部危機管理課 TEL022-355-6491

～　津波避難Q&A　～

Q1 どうしても徒歩での避難が困難な人が車で避難中に渋滞に巻き込まれたらどうするの？

A1　渋滞に巻き込まれ、避難が間に合わないと判断した場合はその場で車での避難は諦める決断が必要です。車を左側の路肩に寄せ、鍵を付けてロックをせずに近くの頑丈な建物の3階以上に避難してください。一人での移動が難しい場合は、クラクションを鳴らしたり大声を出して、周りの避難者に介助協力を求めてください。

Q2 津波注意報でも高台へ避難するの？

A2　津波注意報は、20㎝～１ｍの津波が予想されるときに発表されます。塩竈市内は津波注意報で3mの防ちょうていの扉が閉まります。海岸付近にいる人は、海岸から離れる必要があります。津波警報や大津波警報は高台へ避難です。

Q3 高台がないときや、高台に避難する時間の余裕がないときはどうするの？

A3　塩竈市内に5つある津波避難ビルか、鉄筋コンクリート造の頑丈な建物の3階以上へ避難してください。

Q4 津波が引いたら家に戻っていいの？

A4　津波は何度も押し寄せ、第2波・第3波のほうが高くなることがよくあります。波が引いたように見えても油断せず、津波警報解除まで安全な場所で待機し続けてください。

Q5 海岸沿いを運転中に大津波警報が発表されたらどうすればいいの？

A5　車を捨てて徒歩で高い場所ににげることが最優先です。車は、緊急車両が通れるように左側の路肩に寄せて、鍵を付けてドアロックをせず離れて下さい。